



かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議

子どもの成長

笠松保育園では、毎年七月と三月に子どもたちの発表会があります。普段はあまり見られない保育園での様子や子どもたちの成長が見られるとあって、子どもたちよりも家族の人たちの方が楽しみにしている行事でもあります。

今年も七月に七夕祭発表会がありました。家族は朝早くから場所を取りに、ビデオやカメラを持って集まります。広い遊戯室がいっぱいになるほどの観客を前にして子どもたちは何回も練習してきたお歌やお遊戯、劇や楽器を一生懸命披露してくれます。

中にはびっくりりして、固まってしまう子や泣き出してしまいう子もいます。どの子も無条件に可愛いくて観客も一生懸命に拍手します。

今年、年長になった我が子の初めての発表会の時には、あまりの感動に思わず涙が出てきたことをつい最近のこの様に思い出します。小さなころから私にべったりで、よく泣いてとても手がかる子でした。その子が私から離れてお友達の中でとても楽しそうにお遊戯をしている姿を見て、思わず涙が止まらなかつたのでした。ここまでの親バカはあまりいないとしても、どのご家族のかたも皆さん我が子の成長に感動して、今日はいっぱい褒めてあげようと子育ての原点にかえり、あつたかいい気持ちになるのです。

頑張っているところを家族の人に見てもらおうと、真っ赤な顔をして大きな声で歌う子や、ちよつと照れた様にはにかみながらセリフを言う子や、小さな子

子どもたちの反応は年々変わってきます。年少のころは手を振る私を見つけると、満面の笑顔で手を振ってくれましたが年長にもなると少し照れくさい様で、隣のお友達と顔を見合せて、ちらちらとこちらを見ます。そし



て小さく手を振ってくれます。これも心の成長とまたまた嬉しくなります。

子どもの成長は、毎日頑張つて子育てしている保護者への最高の褒美です。これからもたくさんのご褒美がいただけることでしょう。そして今から三月のひなまつり発表会を楽しみにしているのです。

笠松保育園

保護者会長 堀 祥子



教育委員会だより

教育電話相談

郡四町教育委員会

245・1133

悩んだら気楽に電話してください

8月24日(日)に、羽島郡子ども会育成協議会主催のデイキャンプが、笠松町地内トンボ池横の芝生広場で行われました。川島町・岐南町・笠松町・柳津町の小学生44人と、ジュニアリーダー約20人が参加し、午前の飯ごう炊さんに取り組みました。近くのスパーへの買い出しから、火おこし・カレーの準備とすべて子どもたちの手で行いました。育成者のかたも30人程みえましたが、「口は出しても手は出さない」という事前の申し合わせで、子どもたちに任せて見守っていました。

「きつとしゃびしゃびのカレースープになるところがでると思うよ。」そんな予想通り?の班がありました。子どもたちの顔は光り輝いていました。世話役のジュニアリーダーの人たちも、何とかうまく作らせたという真剣そのもの。はじめて出会った仲間同士なのに、子どもって打ち解けるのが随分早いものだと思えました。午後は川島町・笠松町が所有するEボートを借りて、木曾川下りを行いました。講習会を受けられた6人の育成者を中心

体験すること~子ども会活動を通じて~

に、ボートの組み立てからご自分の練習、ライフジャケットの装着とてきばき行動していただきました。新しいことへの挑戦は、子どもの目を実に生き生きさせるものです。当日は残暑が厳しく、用意した給水所のお茶があつたという間になくなるほどでしたが、川へ出たとたん、元氣よくこいでいきました。

木曾川の川面からみる羽島の地・水の流れ・川の音・におい、すべてが子どもたちにとって貴重な体験です。今日顔を合わせた者同士が、協力してボートを進めた今回の体験は、子ども会活動ならではの良さなのです。子どもたちの心に残る体験活動が彼らの成長を促していることを理解し、これからの子ども会活動が発展していくことが、よりよい人づくりにつながっていきます。体験して、今だからこそ貴重なことなんです。